アタゴオル玉手箱

ますむら ひろし

MOE出版

— 6 —

アタゴオル玉手箱

ますむら ひろし

MOE-SHUPPAN

カバー・表紙デザイン
たむら　しげる

H. Masumura

ATAGOUL

メニュウ

キリエラ戦記

キリエラ戦記

キリエラ戦記Ⅰ

時　計

たしかに…東の湖のそばと…水占いにはでてるんですが…
ウーム…もう一度探してみるか…
オーイテマリちゃーん
行方知れずの男を占ってほしいんだけど…
20日も行方不明のふとった奴ね…
私もさっき調べてみたけど変な所なのよ
あれ…これは…！

テマリちゃんの
水占いだと
ここなんだよ
ここは島のお墓だろう
…ホントにこんな所に
いるのか…

なあ、パンツ
……
変だと思わないか
お墓のお供えが
全然見当たらないぜ

そういえば、ひからびた
草ダンゴひとつ見当たらないな
いや～な予感が
してきた

最高じゃ
もぐ
もぐ
えー所
じゃっ

あら!!

コラ
罰当たりめ
お墓から
降りるんだ

ホホホホ
学者にとって
お墓なんぞは
ただの石じゃよ

何が学者だよ
ただのお供えドロボウ
じゃないか…
昼間っから
酔っぱらって
付け髭が
逆さだよ

ご忠告
ありがとう

諸君
私はお供えを
食べたくてここに
いるのではない！
でん

夜中に聞こえる
変な音楽を
調べているのじゃ

夜中に聞こえる…？

そうじゃ、夜中にほんの少しの間…
それがお墓の中から聞こえることがわかってな

きのうワシはそこを掘っくり返したんじゃ

えっ

これを倒すのが大変じゃったのさ
あーあ何んてことを…
ずいぶん掘ったなぁ

ヒデヨシ、棺桶は?

それが何ーんも出てこんのじゃ
あれ…何か光ってるぜ…

埋蔵品じゃないか…
掘ったのはワシじゃ

ワシのもんじゃぞーっ
ガ

これが変な音楽の主と見たっ
ズッ

ん…
何だこれは…

…水晶の…剣かな…
オオッ字じゃ…字がほってあるぞ
文字が!!

なんだか…
これ…手が
チカチカ
するぜ

バチ
があっ
バチッ
ビビッ

まったく…
死ぬかと思った
じゃよ!!
ふつうの奴じゃ
死んだかも
しれないぞ

なんの、この棒
あれ以来ぜんぜん
ビリッとしびれないの
……
それにしても

なんだかすごいものを
掘り出したんじゃないですか

光が残って消えませんよ

見たことない文字だね…

たぶん、海洋文字の一種だと思うんだ

海洋文字…
ああ、波の型を原型にしてる古代文字さ

…しかし墓場で聞いた音楽ってホントにこの水晶棒のせいなんでしょうか

そうじゃよ、ヒデ丸
夜中になればな
この棒がしくしくと
唄い出すのじゃ…

それは、それは…実に
変な音楽なんじゃ
この世の
ものとは
思えない
ぜひ
聞かせて
もらいます

よく日の昼
…くそ〜っ
眠てぇよ〜っ
やっぱり
音楽なんか
聞こえなかったじゃ
ないか

信じてくれよ
テンプラ
あそこじゃ
ホントに
聞こえたんだぞ

きっとその棒の
せいじゃないんだよ
い〜や、
絶対これだ
野性の勘だぜ

野性の勘で
いつもハズレて
いるじゃないか

昔のことはわすれませう

…ときにテンプラそんな時計箱持ってったってさ
あんな古時計なおりっこないよ

オレもそう思うんだけど
時計屋のおっさんが必ずなおせるっていうからさ…

こんちは・なおってますか？
ええご安心して下さい

ささっこちらですよ

あら
おっ

なかなか風格のある時計だなぁ

さあ…ずいぶん
古い時代のものらしいんだが…

猫の目時計学者が
調べたところによると
舌の長さからみて
3000年はたっている
そうだよ

舌の長さ
からみて…!?

ああ…この時計の舌は
木の年輪みたいなもので
年々少しずつのびているんだ
ベロリン
ベロベロ

ほんとに
長げ〜ベロだな

何やってんだ
お前
ちょっと
つっついてやろうと
思ってさ

お客さん、大切な時計にいたずらしないで下さい

あらん

くっついてとれないぞ

とれない?

ああ…コラッ

いたずらするなといったのにっ

うっ

ああ

水晶棒と
この時計…何か
関係あるのかな…
らっ
ああっ
これだよ
オレがお墓で
聞いた音楽は!!
なんだ…
この気味の悪い
旋律は…
!

キ・リ・エ・ラ

キリエラ戦記II

輝く猫

キリエラ?

ろっ

親父よーっ
これ…何んなんだ?

ワシも見るのは、初めてだ…
…ただ…

この時計には言いつたえがあって
「輝く猫が来る時がこの時計の終る時」と言われてたんだ…

なおせないんでしょうか
これだけ舌がのびてしまってはなあ…

時間を鋭敏に感じる〝味蕾〟が死んじまってるよ

しかし…時計はこうなるために
作られたのかもしれないな…

すごいねえ…
輝いてる…
これが
キリエラ
なのかな?
ウーッ…
わかんないなあ…

キリエラとはねえ
魚のことじゃよ

魚!?

ああ…
そいつのエラは
霧でできて
いるのじゃ

…それじゃあ
この輝く猫は
キリエフの…？
親戚じゃよ

何をデタラメ言ってんの！

コラ、テマリ！
ワシの言動はすべて
真実じゃぞっ
この水晶棒からも
ちゃんと音楽が聞こえた
ではないかっ

それは
たしかに
聞こえた…
実に気味の悪い音階

あっ
テマリちゃん
その手を
そのままに
してて…

どうしたんだ

あれ…
これは…

…地図だ…
立体地図！

その輝く猫を
もらいに来たぜ

地図じゃとっ

！

もらいに
来たじゃとーっ

おとなしく渡さないと
君たちは眠りにつくことになる

どうやら…
渡さない方が
よさそうな感じ

あったり前じゃ
ピッカリ猫は
ワシのもんだぞ
タダ見も
いかん!!
銀貨3枚払え

払ってやろう
ガサッ
ホラ
パキッ

ピタッ

でっ
の〜っ
くっ水晶が…
来るなっ来るなっ

しっかりしろ
テンプラ
…あれ…
ヒデヨシ
パ

みんな
だいじょうぶ
ああ…
おどろいた…
葉っぱ野郎
どこへ行った
あっ
テマリちゃん

テマリちゃんが
死んでしまった…

あれ…この水晶
実体がないぜ

…そうか…
テマリちゃんは…
強力な催眠術を
かけられたんだ…

それじゃ
死んじゃいないんですね
ええ…
だいじょうぶ
です…
でも…これを解くためには
あの男と戦わなくては…!!

くそ〜っ
地面猫も
水晶棒も
なくなってるぞっ

ツキミ姫、
あの男、どこへ
行ったんだ…

南の方角…
…海の上…

よーし
出発だっ
オーッ
ビィン
ドドドド

おっ植物器械が動き出したぞ
どうやらタクマに別れの挨拶をしてるひまは、なさそうだな

バシッ

どうしたんだ

ヒデヨシ君が怒りで興奮してるから器械が反応してるんじゃ…

葉っぱ男ぶちのめしてくれるぜっ
コラ落ちつけヒデヨシ

船がバラバラになるぞ
あれっ…この大砲！

どうしたんだ
ヒデ丸
ダッ

この船、オイラの作った
設計図を読んでる…

あっ
やっぱり
そうだ

えっ
ヒデ丸の作った
・ああっ

うあっ
動いてるぞ
ゴゴゴ

落ちる・・
海へ落ちるぜ

ズバッ

うあ・
これ潜水艦じゃないか…
ヒデ丸が設計したのを植物が読んだんですよ
すごいねヒデ丸
海底島にいる間、船造りの親方の所で学習したんです

※(注)やっつけ丸＝アタゴオルの駄菓子屋から盗まれた竹製の剣。

艦長が
紅マグロをつってます

キリエラ戦記III

闇しばり

ザーッ
お前のバイオリンはしみじみとさせるなあ…
ブドウ島の特上ワインを飲みながら…「輝く猫」を待つというのは格別だぜ

銀波船長
薬座さんがもどりました
よし入れ

船長どうぞ
こっ・・これか

これが「輝く猫」か!!

これを持っていた子どもたちの中に不思議な力を持つ娘がいました

不思議な力!
ええ・それと何か恐ろしいくらい大馬鹿な猫・・

恐ろしいくらい大馬鹿な猫だと?

何言ってんの
艦長こそ
みずから進んで
掃除をする
んだよ

甘い

艦長とはいつも
みんなの幸せを
考えて、ノドが
かれるまで
唄うんだよ

オーイ
作戦室に
集まって下さい

ザーーッ

あ～だれだっ
テマリちゃんに線香なんか
あげたやつは…

そんなことするのは
ヒデヨシに決まっているよ
そーじはしないし
線香はあげるし・

お前ねえ…テマリちゃんは
死んじゃいないんだよ
催眠術で眠っているだけなんだ
うははは
早くさめる
ように
おどかして
みたのさ

みなさーん
早く
こちらへ
来て下さい

おっ…これ…

「輝く猫」から出た
"立体地図じゃ
ないのか…

うん、あの時見た
瞳の残像をもとに
粘土で復元したんだよ
すごい…

これさえあれば
オレたちが先まわり
できるぞ

よくやった
ツキミ君
あとで生ダコを
ひとつあげよう

船だっ
船が見えます

でっけーっ

かなり乗っている
みたいだな…
葉っぱ男も
いるんでしょうか
たぶん…

あれっ

旗は
黒いバイオリンの
絵ですよ
何っ

黒いバイオリンって…
銀波船長ひきいる
「闇のバイオリン号」ですよ

「闇のバイオリン号」！
はいっ、島々の
バイオリンの名器を収集し
天才バイオリン弾きを
乗せている海賊

銀波船長ってたしか…
銀しぶき海賊図鑑によると、
赤丸印の狂暴さだったぜ

ええ、でも、バイオリン弾きには
けっして手を出さないので、
村中がバイオリン弾きになった島が
あるくらいなんですよ

唐あげ丸さん‥
船長の前で弾くつもりですね
ええ、昔からの夢でした!!
それに調べたいこともあるのです

弾きなさい、弾きなさい
オレがたっぷりと
こらしめてからね

野郎どもっ
「輝く猫」は
オレ達の手にある

オーーッ
船長
すげえや
あれが
キリエラのナゾを
解くらしいぜ

キリエラ
ああ…なんでも
恐ろしい武器だって
話じゃよ

強力な大砲みたいなもんかな
いや…くわしくはわからんが…
ガヤ
ガヤ

やがて我々は伝説の「キリエラ」を手に入れるだろう
その時こそ、貴様らがこの船に乗ったことを感謝する時だ
オーッ

オッ

どうした薬座
あいつだ…

あの馬鹿猫追って来たんだ

よ～っ
銀波船長
オレは、ヒデヒデ号の
ヒデヨシ艦長だ

オレから盗んだ
地図猫と水晶棒を
さっさと返せ
今すぐ返さないと
たあっぷりこらしめて
やるぜい

オレを…
こらしめる
だと…

とんでもない
野郎だ…
船長
みな殺しにしましょう

左舷、3番から8番砲
闇のバイオリン号の腕を
見せてやれ

うああ

ひえええ

銀皮の野郎
ぶちのめしてくれるっ
早く昇れ
退却するぞ

臆病者めっ
せめるんだっ

銀波船長
私のバイオリン
聞いて下さい
やっつけて
やるわよーっ

オッ
デブ猫が
つっこんで
くるぞ

葉座…
あの馬鹿は
何を考えて
いるんだろう
何も考えて
ないんでしょう

小船を
ねらえ

ハズレーノ
お客さん
また来て
ねーっ
ボ
ン

いまいましい
野郎だな
猫汁にして
食っちまおうぜ
闇しばり弾
ぶち込んでやれ

闇しばり弾
パ
ン
おっ

ああ
たっぷりと
苦しませて
やる
あの猫とうとう
船長をおこらせて
しまったぜ

闇しばり弾
発射
ドド

くそっ何んだ
こりゃあ
黒い液ですね…

ようし…
進路を西南西にとれ
キリエラをいただきに行くぞ
オーッ
オーッ

うあっ
ひえっ

なんだ、あの黒いの…
増殖するみたい…
闇のバイオリン号が遠ざかっていくぞ

その日の夕方
生き物の心の中には
必ず暗闇があり
そこに眠っているものが
そいつの恐怖感を
作っている

「顔のない母親」や
「虫のはいまわる音」…
「夕暮れの壊れた時間」
あの夜を浴びるとそれが吹き出して来るのだ

それがなんだってんだ
これがあのデブ猫の
心の闇!?
恐怖感だっていう
のかっ!!
こんなイカが
おどっているのか

「心の闇」を持たない生き物が
いるなんて…
…それにしても
なんて増殖力だ
信じられん…
船長…もし
あの猫が
キリエラを使ったら…

その時は…
この星が吹き飛ぶかもしれんな…

キリエラ戦記IV

恐怖のバイオリン弾き

ザザーッ

何か・・
くさったニオイが
漂ってくるな

ヒデヨシくん
だからお風呂に
入ってから出発
しようって言った
でしょう
そんなに
くっさいかなあ…
くんくん

野郎…もっと
いいニオイかがせてやるぜ
パラン

うっ

ド

オレの体がくっさいだと…

このっこのっこのっ
ヒデヨシくん早く…
バゴ
バゴッ

そ〜っと
ワハハハ
しかし恐ろしい景色だったなあ…
ガヤ
ガヤ

あんなふとった猫は食ってもまずいぜ
見るからに大バカづらしてたしなあ
なんだとう

コノヤロ
だれがバカなんだ
わっ

こいつ
どっから入って来た

ホーラ良い子に
贈り物っ

うあ
ふせろっ
いこうぜ
親方

何事だ
出たな銀波船長

オレはヒデヒデ号の艦長ナゾノヒデヨシだ
葉っぱ野郎が盗んだ水晶棒とピッカリ猫を返してもらおう

なんだお前その剣でオレと勝負しようってのか

コラ銀皮、この火薬玉が見えねーのか
さっさと渡さねえとホラホラ葉巻で火つけちゃうぜ

そんなことをしたら貴様も吹っ飛ぶぞ

オレは鉄猫だぜ吹っ飛ぶのはお前だけさ

船長、こいつなら火をつけます。
なんて奴だ

ホーラ
早くしないと吹っ飛ぶぜえ

バチッ
バチッ

ゴン
ぶっ
ドッ

船長、こいつバイオリンを持ってますぜ
はい、私は船長に私のバイオリンを聞いていただくためにやって来たのです

ほう自信がありそうだな

はい、私はヨネザアド大陸のアタゴオルから来た唐あげ丸です
いつか銀波船長にお会いして、私のバイオリンをお聞かせするのが私の夢でした

いいだろうただし、一音でも音をはずしたらお前もこいつと一緒に死ぬぞ
いいでしょう

オーッ
ウォーッ
ザッ
いかがですか
…すばらしい…
…まるで
嵐の海のよう
だった…
唐あげ丸…
君は
左舷音楽師として
この船に乗るつもりは
ないか
左舷音楽師
こっこう
光栄です

親方の演奏に
感激するようじゃ
銀波くんの
お耳も大したこと
ないわねーっ
なんだと・・

唐あげくんも、まあ
するどいが…
しかし音が細すぎる
のさっ
その点、オレの弾くバイオリンは
お日様の光のように強く
生き生きしてるんだぜ

お前が
バイオリンを
弾くんだと…
そうとも
感激とは
オレの指先から
生れてくるのさ

ようし・・
弾いてみろ…
もし唐あげ丸より
少しでも劣ったら
貴様を断頭台に
かけてやるぞ

だんとう…だい？
ああ…その短い首を
シュポーンと切り
落とすのさ…

そーとも
これが音楽の真髄だ

ギィーーゴギギ

くっ

ギギィ

やめろ、バイオリンの悲鳴じゃないか
それでも演奏かっ
ギー
ギ
ゴトーッ
キィーーッ

弾きまくってにげるのさ
ギー
ギ
ゴ

あっ

おお
ギコ
ギィ
ギーッ
パチ
パチ

輝く猫が……
パチ
パチ

らっ

キリエラ・ハ…30ノ穴ニ吹キコム命

…これはいったい…?

もしかしたら…ヒデヨシの雑音に反応したのでは…

ど…どうだ銀波
ピッカリ猫はオレの演奏がわかるのさ

何が演奏だ
貴様は恐ろしい馬鹿力でデタラメを弾いただけだろう
安っぽいバイオリンならとっくに弦が切れてるぞ

ブタの猫が弾くのをやめたら動きも止まったぜ
30の穴に吹きこむ命とか言ってたな
ザワ
ザワ

船長…
もっとヒデヨシに弾かせたらキリエラの秘密がわかるかもしれません

乗組員にキリエラの事を聞かせるのはまずい…。オレの部屋でやろう…

コラ葉っぱ何んのつもりだ
お前がにげないようにするためさ

名演奏者に対して失礼である
ワシャ弾かんぞ

付け髭して声色つかって…徹底したバカだな

おい、さっさと弾かないと
太っとい腹に火薬玉をぶち込むぞ

わしの芸術を銃を使って聞こうとは…愚かな者どもよ

よろしいわしも全力で弾いてやろうじゃないくあっ

うっ
バチバチ

猫がっ

すげえ
ギゴーッ

やめろヒデヨシ
弾くのをやめるんだ
ギギーッ
弾けと言ったり
やめろと言ったり
…もう…

身勝手ねっ

いただきっ
ガツ

ガシャーン

キリエラは
オレのもんだぜーっ

キリエラ戦記V
月へのキリエラ

ギー
ッ
くそ〜っ
どうしたんだよう

この島についたとたん
動かなくなるし
いっくら弾いても
ちっちゃくなってくぜっ

もうっ
バッ
ツ

…おんやあ

パポンパ草じゃ
ないの〜っ

いえ〜っ
チャカ
ブンブン

何やってんだ
お前?
あら
どうして
ここが
わかったんだ

ツキミ姫の透視力さ
勝手に先に
行って
おどってんじゃ
ないよ

勝手に来たのは
このピッカリ猫だぞ
島に来たとたん
縮みだして動かなく
なったんだ

それはたぶん…
この島のどこかに
キリエラが
あるからよ

ホントかっ

この島に
キリエラがあるのか
ああ…
ホラ…この
猫の地図…

この島の型と
そっくりだぜ
オッ…
ホントだ

でも どこに
あるんだっ
やっぱり気になるのは
この虫ピンみたいな
針の位置だな…
ようし一つずつ
調べていこう
ぜーっ

えっ

唐あげ丸さんが
銀波船長の
バイオリン弾きに
そう!! オレも
さそわれちゃってね

さそうわけ
ないだろう

ところで ヒデ丸は どうしたんだ？
ヒゲヒゲ号の 艦長だから、船に 残ってるってさ

船なんか ほっといて くればいいのにな
船といえば… オレが銀波の船で バイオリン弾いた時 ピッカリ猫が しゃべったんだぜ
「キリエラは30の穴に 吹きこむ命」って

30の穴に 吹きこむ命！
フーム…どういう 意味なんだろう
なやむんじゃ ないよ パンツ

キリエラさえ 見つけてしまえば わかることさっ

ねえ… 地図猫だと… 虫ピンの位置は このあたりだよ

よーし掘っくり返すぞっ
キリエラはオレのものーっ
ザッ
食い物でもないのにヒデヨシの奴どうしてキリエラを探したがってるのかな
たしかに変だよな…

たぶん…ヒデヨシくんは銀波船長に高く売りつけるつもりです

そうか…その線か
まったくなっさけない奴だなあ…
ホラホラ君たちムダ口言ってないで手伝いなさい

キリ…エ…ラ

パチ
パチッ
パチッ

パチ
パチ。
パチ
あっ
らっ
何んだこりゃあ!!

パチ
パチ
パチ

30の穴に吹きこむ命ってこのハーモニカの穴のことじゃ
そうみたいだね
しっかしよう
さんざん探しまわったものが こんなハーモニカとはねえ
さあ、それを渡してもらおうか
うっ
あっヒデ丸
ヒデヨシ こいつを殺したくなければキリエラを渡せ
このやろう ヒデ丸を返せっ
こんなもんくれてやるっ
と…その前に
どんな音がするのかな

あっ

うっ
痛でっ

助かった

すげ～っ
なんだこのハーモニカ

野郎

おっと
シュッ

ヒデ丸こっちだ
ヒデヨシがまた吹くぞ

ファ

くっ

キリエラの音で
地面が：
てっ

うぐっ
バ

あら
やった

あっ

たいした腕だな…
…名は？

ツキミ姫…
テマリちゃんにかけた催眠水晶を消す法を聞きたい…
聞くよりかかった方が早いぜ
ハッ
そうか
わかったぞ
あらん

だめよっ
それにさわっちゃ
スキだらけ
だぜ
わっ
ガシッ
あばよ
ブタ猫
姫は勇敢だったぜ
スッ
何!!
あっ

キリエラ戦記VI
闇のメロディ

ツキミ姫
くそ～っ
ツキミ姫も
やられちまったの
くぁ～っ
なあパンツ、こうなると
たよりになるのは
オレだけだな
パン
なんないよ

なるぜっ
いいか待っていな
葉っぱ男も銀波船長も
オレがぶちのめして
キリエラとりかえして
くるからなっ

キリエラは
おれのものだっ

銀波船長が
キリエラを
持つのも
恐ろしそうだが…
ヒデヨシに持たせるのも
実に恐ろしい

あの古文書によれば
……下からふたつめを
吹けばいいのだったな
ええ…

!

待てこのやろう
キリエラをもらいに
来たぜ
あっ…
デ・ブ・ヨ・シ
デブヨシじゃ
ねえよっ
ヒデヨシだっ
船長
あぶない
シュッ
いっ
でっ
よくも
ーっ
うっ
パチ
パチ

パキ
パキ

やったぜ…
バッ

あっ…水晶催眠が…
コラ 葉っぱ

オレはたっぷりと睡眠をとってるから催眠術はきかねえのさっ

大馬鹿野郎
オレの術がきかないのはお前の頭が異常だからだ

誉めてくれてありがとう
ホーレお返しに
お前の葉っぱを
刈りこんでやるぜ
くらえっ
ぐっ
ドドッ
うっ
パキ
パキ
この野郎
同じ手を使って
ザッ

なんだ
これっ
馬鹿にでもきく
黒闇づるだ

くっそう
なんて
固いんだあ
それだけ
トゲがささって
痛くないのか
ヨロ
ヨロ
痛くなんかねえけど
つるがとれねえぞっ

ぶっ
貴様に
キリエラの吹き方を
見せてやる…

吹き方なんか
知ってるぜ
おもいっきり
吹きゃあいいんだろ
馬鹿野郎、それは
一番危険な吹き方だ

下からふたつめを…
パキッ
水晶棒がっ…

なんだ
それは

水晶製の…
譜面さ…

よいしょ
ツキミ姫がやられるなんて信じられませんね

オーイ待ってくれい

あっヒデヨシ君そのかっこう!!
つかまっちまったのよ

ホラ、あの青い帽子のテンプラがハーモニカ吹きさ
あいつが…

さあ約束だぞこのつる切れいっ
あいつが吹いたらな

さあ
テンプラとやら
この譜面を
キリエラで
吹いてもらおう

譜面って…
それ水晶製…!?

そうなのよーっ
銀波がキリエラ
吹いたら
あの水晶棒が
溶けて譜面に
なったのよーっ

あの水晶棒が

よいかな
一音でも音を
はずすと…
ただでさえ
風通しのいい
この頭が、もっと
風通し良くなるぜ
ガシッ
わっ
コラ
テンプラ
失敗するなよ

これは複雑だなあ・・

…むずかしいぞ
そうだな 相当の腕じゃなけりゃ・・

テンプラ 助けてくれえ ちゃんと 吹けよーっ
どうやら 命がおしくなって きたな

なんだか・・ヒデコシの命と ひきかえに…いやな事が 起こりそうな気がするな
キリエラか …オイラも 吹いてみたい なーっ

ようし… 吹くぞ

うまい…

あれ…この曲

パキッ
葉が…
パキッ
パキキッ
痛で
うあっ

にげろっ
うあっ
闇のバイオリン号の船首でメロディを流せるとは…
ああ…夢のようだ
だが…そろそろもうひとつの目的をとげなくてはならぬ
うあっ なんだ あれは
へっ?
しっ…

島が動いてる
ズズズッ

キリエラ戦記VII
網　樹

ぐわーっ はさまっちまうわー。

バギッ

あぶねえ 落ちるぞ

ヒデヨシくん しっかり

おおアリガト ヒデ丸

何んだ……これは……

網樹が出芽したんだ

網樹……！

そうさ……キリエラと双壁をなすすばらしい物体さ……

ボコ
ボコ
鉱物やら植物やら……入り乱れて……

鉱物の森みたいだぜ

網樹……水晶の腕を上げろ
くあっ
きれいっ
キリエラも
すげえけど
網樹って奴も
すげえなあ
気に入ったぞ
銀波、オレにも
動かさせろっ

コラ、……近づくな……
お前たちには
ここから
飛び降りてもらおう……
何っ
おい、銀波
ハモニカ吹きの
テンプラを紹介
したのはオレだぞ

だーから
オレだけは
助けてくれ
ヒデ丸
ヒデ丸
えっ

オレだけ
助けて
くれえっ
見苦しい
野郎だな……
そーっ
バッ
あっ

待て小僧、その葉は!!
それっ

ペタ

パキッ
うっ

短かい眠りをありがとう

あっ ツキミ姫
オレの葉脈催眠からぬけ出すなんて…

私の意識を完全に眠らせるのは不可能だよ

ジャーン
あっ
オレを落とすだとォ
コラ銀波、キリエラで吹っ飛ばしてやるぜ

こいつ… 急に態度変えやがって!!

くらえ

あれ・・
どうしたんだ・・

動き始めた網樹にそんな音は通用しないぜ

さあ、子どもたちよ
キリエラをそこにおいて飛び降りてもらおうか!!
バキッ
ビッ

バギッ
うっ

今だっみんな早くにげてっ

キャーッ

せっ

うっ

くそっ
待て…葉座

しかし、キリエラが

さあ成長してくれ
網樹・・

ザザッ
ズザザッ
うあーっ
すげえ・・
化け物だぜ

船長だ
船長と葉座さんが
頭の所にいるぞ
ガヤ
ガヤ

ここの合鍵を
作るのが、
なかなかの苦労で…
ガチャ

ギィーーッ

オ・・・オオッ

スバラシイ

スバラシイ景色だっ

「青猫島、雨床通り
収集番号33
ピントン7世作」

これだ、これが
我が家のご先祖が
うばわれし名器!!
やっぱり、ここに
おりましたかーっ

ピントン様っ
この唐あげ丸が
お助けにまいり
ました
さあ一緒に!!

キョロ
キョロ
そーか
君たちも私と
行きたいのか

ザ
あれっ
唐あげ丸、
その包み!!

大変だ、バイオリンの倉庫が空っぽだぞ
何ーっ
さらば諸君
元気に海賊業にはげみたまえ
ハア…
一番乗りーっ
貴様ーっ
うははは
船長め、オレが恐ろしくて追っかけてこねえぜ
あの網樹とやらに用があるんじゃないかな

この葉さえあれば
テマリちゃんは!!
ええ、ヒデ丸
やってごらん

うるさいテマリは
ずーっと
眠っていれば
いいのによう

パキッ

あれ・
私・・・
やった!!
気づいたね

なんだか私
植物の黄色い
葉脈の中で
眠っていたような・・
水晶催眠に
かけられていたんだよ
みなさん
たまいやーっ

あっ唐あげ丸さん
どうしたんだ
その荷物

バイオリン号から
もってきたんです

スゲーッ
どろぼう猫

ホラ、これなんか
すばらしいもんですよ
300年以上
前の絶品

うっ
パチッ
パチッ
あれ、
キリエラが光った

何んだ…
中に
入ってるぞ
カラ
カラ

ガザッ

キャーッ
しぶい眼鏡!!

キリエラ戦記Ⅷ

黄色い眼鏡

うへーっ
みごとにしぶいねえ
パチ
あっ
キリエラがまた
光ったぞっ
その眼鏡
キリエラと何が
関係があるみたいよ
どう似合う？
全然似合わ
ないよ
それよりヒデヨシ
どんな風に見える？
どんな風にって…
なーんにも
見えねえぞ

何も見えない?!
ああ、ホラかけてみなよ

…ホントだ何も見えない

何んだ、この眼鏡
このネジ回しても…何も見えないや
キリエラを吹いたらどうかなあ?

よし、やってみるぞ

どうだ?
別に…まっ暗なままだ

その眼鏡、少し
調べてみるしか
ないな…
ちょっと私にも
かけさせて
下さい

ただの
クズ眼鏡じゃねえか
そんなもん
そうでもないぞ
銀波船長の手下が
とり返しに近づいて
くるよ

何っ

よーし大砲で
ぶっ飛ばしてやるぜ
オイラとしては
ひとまず潜水して
相手をかわす
べきだと思います
ヒデ丸船長
正しい〃

えーい臆病者めっ
オレは逃げない男だぞ

くそっ
もぐっちまう
ぞーっ
船長に
何んて言えば
いいんだっ
ズズ

何…バイオリンが全部盗まれた!
唐あげ丸の野郎が急に妙な目つきになって裏切りやがったんです

あいつ…オレが苦労して集めたバイオリンを…

船長あの中には例の眼鏡も

しまった

それであいつらは逃げたのか
それが湾の中に潜ってこっちの様子をさぐっているようなんです

馬鹿な子どめたちめ
とっとと逃げれば
いいものを
何んだ、すげえ
アワだぜ
綱樹だ…海底まで
綱樹がのびて来てるんだ
見ろ…岩盤が
どんどん崩れて
いくぜ
あらん

よう
オヤジ
すげえぜっ
見てみなよ

い〜え
けっこうです
こんなにあたりが
まっ暗だと、私の心は
バイオリンに集中
できるのです
ああっ
岩盤が!
こっ…これは…

網樹の力で
島が浮いているんだ

ああ…

島全体が南に移動し始めました

銀波の野郎、よっぽどオレが恐ろしいんだな
かわいい奴め
どうします追っかけましょうか
オウ

もう二時間は弾きっぱなしだな

すごい集中力無我の境地だね

クアッ
な…なな……
何んだこれは～っ
親方、何か見えるんですか
バ
ア
これはいったい
唐あげ丸さん何か見たのよ
でもどうしたんだろう急に…
諸君は観察力がないのう

原因はこれじゃよ

このバイオリンを弾いたために何かが見えたのじゃ

バイオリンが

ギ

うくっくっ
ギギ

ヒデヨシどうだ見えるか

なんにも見えん
もっと力をこめて弾いてみようっ

やめろ
もういい

まだ気が
つかないのよ

よっぽど
衝撃だったん
だなあ

精神の集中力か
たしかに、いつも
心を一点に集中して
弾いてるもんねえ

しかし
唐あげ丸さん
どうして何かが
見えてたんだろう
親方とヒデヨシの違いは
腕も違うが精神の
集中力だよ

眼鏡をかけても見ようとしない程無我の境地ってやつか…
その線かもしれないぞ

精神集中だとか無我の境地だとかそんなもんで腹がふくらむとでもいうのかねまったく！

テンプラくん、すごいですねもう一時間くらい精神集中してますよ
オイオイ寝てんじゃねえぞ
こらっヒデヨシ静かにしろっ

さすが
テンプラくん
ビクともしない
みごとな精神集中だな

!

どうした
テンプラ

こっ…これは
唐あげさん
気絶するわけだ…

ドド
テンプラ
何んだ
何が見え
るんだあ
ドド
あたり一面が…

まるで
譜面のようだぞ
譜面のよう…？
ああ…

いいか…たとえば…

あっ

そうか…物質は…

みんな　旋律(せんりつ)で
できているんだ…

キリエラ戦記IX

一騎打ち

よーく見ると
パンツって
みっともない顔だな
失礼なこと
いうなよな
ねえテンプラ
まーだ?
もう少し
だよ
いま
尻尾のところ

オッ
いい男

ほれぼれする
いい男

土と石と植物で
造ったヒデヨシか

パンツ君の体の
旋律と
ずいぶん違うね
ああ…
かなり気味が悪い

しびれるぜ
いい曲だっ

ふう

けっこう
時間がかかったね
まったく！
ヒデヨシの体だから
簡単だと思ったのに

ねえ
唐あげ丸さんの
様子が変よ
えっ

すばらしい…

これが
私の名作か…

何んだ
あれは…!
きのうの夜中、
たのまれて、唐あげ丸さんが
作曲した「三日月の口笛」を
キリエラで吹いたんだ

それじゃ
あの型が…
「三日月の口笛」の
旋律!

たしかに
唐あげ丸さんの曲らしい
するどさが型のあちこちに
でてるね

甘いぞ
ツキミ君

アタゴオル
最大の作曲家

ヒデヨシ君が作った
「ポンポコお腹節」

このスルドさ

どこが
スルドイんだよ

やたら長くて
単純な曲の特徴は
でてるけどな

この世界の
あらゆる風景の中に
無数の旋律が潜んで
いることが
私には
感じられるのだ

!
バキッ
オアツ

何んだこれは
ドッ

網樹が侵入してきたのよ

オイ…ヒデヨシ
唐あげ丸

オレから盗んだ
キリエラとバイオリンを
もらいに来たぜ
何言ってんだい
もともと
キリエラは
オレのもんだぜ
しかも網樹も
もうすぐオレのものさ
船長
いただいた
バイオリンの一つは
我が家から
盗まれたもの
なんです
そして残りの
バイオリンは
勝手に私に
ついてきたんです
この
ドロボウどもめっ

どうやら
たっぷり海水を飲んで
くたばりたいらしいな
うるせえ
これでも
くらえっ
このっ！
このっ！
うあっ
海水だ
マズイぞ
おのれっ
やれ網樹

くっそーっ 銀波めえ
網樹で動きがとれねえよ

だめだ 沈むぞ

いやだわ
死にたくねーっ

!

うわっ

あっツキミ姫
すげーっ

ツキミ姫のおっ母さんは
しびれナマズだったのか

だいじょうぶ
気を失った
だけだ
ヒデ丸、早く
制御室に行って壁を
はい
銀波野郎

ヒデ丸
ここを回すと
元にもどるん
だったな
あっヒデヨシ君
それを回したら！

網樹の
根毛神経が
やられました
何んだと！

バシャ
んっ何んだ
あれは

ザバーッ

やったぜ

ありゃ

大陸だ
網樹が大陸にたどりついたぞ

これがゴランドア大陸か

あれ、ヒデヨシそのかっこう
銀波の野郎をぶちのめしてくるぜ

船長、早く内部へ
網樹は無敵だ

あの馬鹿つっこんで来るぞ
何考えているんだっ
うおーっ

銀波ぶちのめしに来たぜ
ドスッ

ヒデヨシ度胸だけは褒めてやるぞ

よー銀波オレと1対1の勝負をしようぜ

オレが負けたらキリエラもバイオリンも返してやる

お前が負けたら、
この網樹はオレのもんだ
いいだろう

葉座
ためし撃ちを
はい

ガガン

ガシッ
ガキッ

どうだ
おじけづいたか

くぬ…
アタゴオル一番の
腕におどろくなよ

10歩歩いて
勝負だぜ
オウ
望むところだ

1

2

3

4
ガガ

キリエラ戦記X

包脳室

甘いぞ
銀波
ガガ
バシッ
痛っ

キャーーッ
ガッ
痛でっ
キャーーッ
なんて
きたねえ奴だ
野郎ども
ヒデヨシを
つかまえてこいっ
断頭台にぶらさげて
野郎のぶっとい腹を
ちょん切って猫汁に
してやるぞ
船長
あいつは
うまくねえ
ですぜ
やかましい
とっつかまえて
こいっ
バ
ゴ
ぐっ

う——っ………
腹、痛てえ………

ガサ
ガサ

らっ

来たな
銀波の子分めーっ

網樹をいただきにだと？
ああ・・お前も銀波の敵のようだな
こいつをオトリにすれば銀波の野郎をやっつけられそうだな

そうよっ今、あいつをクルミ弾でぶちのめしてきたとこさ
ちょっと足すべらせて落っこっちまったけどね

どうだい…オレと組まねえか？

よし!!いいよーっ
オレはヒデヨシってんだ
オレは霧尾だ

霧尾ちゃんよろしくねーっ

さっきからあそこを飛んでるのはお前の船か？

ヒデヨシ君落っこちたみたいよ

あいつ、高い所から落ちるの得意だから平気だよ

それよりヒデ丸が作った眠り花粉弾を銀波船長にぶち落としてやりましょうよ

いーですねぇやりましょう

でもあんまり近づくとあぶないぞ

オイラにまかせて下さい

！

船長
子どもたちが
妙なものを
撃ちこもうと
していますよ

大切なキリエラと
バイオリンを乗せた船だ
網樹がていねいに
迎えてくれるぜ

照準
ビンビン

花粉弾
発射！
ドン
パー
シュー ッ

うあ
バ
ガ

ぐっ
網樹につかまったぞ

ヒデ丸
左翼の舵を

だめです
動きません
ああっ…
完全にからまって
引きよせられてるぞ

やったぜえ
どうだ
ガキども
網樹にたち向うと
こうなるんだよ
ギギッ

オッ

…見える…
あの旋律の
組み立てを…
あいつ
キリエラを…
オリヤッ

たたっ
助かりましたっ
網樹の神経茎を
破壊するとは…
まったく
キリエラって奴は
すばらしい武器だぜ
あのテンプラに
催眠術をかけて
キリエラを使えば
無敵ですね
薬座…いい考えだが
催眠術では
まだ弱い
奴をつかまえて
洗脳手術を
してやるんだ
船長!
包脳室へ
来て下さい
何?

イリガリ博士どうした？

シュル

シュル

ごらん下され

網樹の力さえあれば
長年オレにたてついてきた
ゴランドア海林国の
バカどもを
冥府に送りこんで
やれるんだぜ

やつらに
このバケモノの
恐ろしさを
見せてやるのさ

脳ミソ？

ああ、網樹の中心には
脳ミソのようなものがあって
その上の部屋に
お目あての神経台が
あるんだよ

せっ
シュッ
すげえ……
身軽ーっ
ホラ、早く
登れよ

なあ
霧尾
こんなせまいとこ
行かねえで
太っとい道を
行こうぜ
そんなこと
したら
すぐ見つかって
しまうぜ
安心しろ
オレ様が
このクルミ弾で
みんな
ぶちのめしてやるぜ
バカ!!
大声出すなっ
あっ
ヒデヨシ
だぞっ
くらえっ
海賊
かまうな
ヒデヨシ
あっちからも
来るぞっ
く〜っ
この扉を
けやぶって!?
ドッ

うっ
ドドッ
なっ…なんだ
これは？
網樹の脳じゃねえか？

やめろっバカ
網樹の脳を
刺激するな

オレにやめろと
言うことは
やれって
ことなのよォ

いかん！

ありゃ

くっ

うあっ
キャーッ
にげろーっ
船長──っ

初出

◉

P.1〜4／「王様手帳」(アド・サークル)
P.11〜170／「月刊MOE」(MOE出版)

●

(P.10の地模様はウィリアム・モリスの図版より)

アタゴオル玉手箱――6

発行　一九九〇年五月　一刷

作者　ますむら　ひろし

発行者　榎本司郎

発行所　(株)MOE出版
〒162東京都新宿区市ヶ谷砂土原町3－5
電話・〇三(二六〇)三二三〇(編集)
〇三(二六六)八六九一(営業)
FAX・〇三(二六〇)一〇四〇

印刷　大日本印刷(株)

製本　大日本製本(株)

172p. ISBN4-89594 316-X C0079